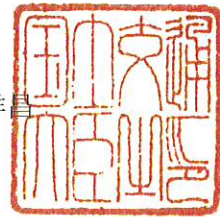


認 定 書

国住参建第 2115 号
令和 7 年 9 月 11 日

因幡電機産業株式会社
代表取締役社長 玉垣 雅之 様

国土交通大臣 中野 洋昌



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060WL-1110-2
2. 認定をした構造方法等の名称
給水管・排水管／化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート・シーリング材充てん
／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：
給水管・排水管／化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート・シーリング材充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）
2. 寸法等の仕様：
寸法等の仕様を表1に示す。

表 1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ70mm以下)
	面積	0.00385m ² 以下
配管と壁との隙間の寸法 (クリアランス)		3～10mm
占積率 (開口面積に対するケーブル・配管の断面積 の総合計の割合)		79.7%以下
貫通する壁の構造等		片面強化せっこうボード重張／軽量鉄骨下地間仕切壁 (国土交通大臣認定 耐火構造：FP060NP-0007、FP060NP-0049、 FP060NP-0075、FP060NP-0185、FP060NP-0189、FP060NP-0192、 FP060NP-0233、FP060NP-0250、FP060NP-0258、FP060NP-0294、 FP060NP-0345、FP060NP-0360、FP060NP-0399(1)、FP060NP-0399(2)、 FP060NP-0427(1)、FP060NP-0427(2)、FP060NP-0441(1)、 FP060NP-0441(2)、FP060NP-0454、FP060NP-0487、FP060NP-0497、 FP060NP-0504(1)、FP060NP-0504(2)、FP060NP-0516) 注)枝番号が付された大臣認定を含む 厚さ 42mm以上

3. 構成材料の仕様：

構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 構成材料の仕様

項 目		仕 様	
熱膨張性 シート		材料	化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート
		寸法	総厚さ：1mm以上 幅：50mm以上(埋設部42mm以上) ただし、裏面材は露出部側に10mm以下伸ばしてもよい
		使用箇所	配管に1周+10mm以上巻き付け
	表面材 (充てん材側)	仕様	あり又はなし ①～③のー
		材料	①ポリオレフィン系繊維強化アルミニウム系テープ ②アルミニウム系テープ ③ガラス繊維強化アルミニウム系テープ
	シート	厚さ	0.3(±0.15)mm以下
		材料	黒鉛含有ブチルゴムシート
		厚さ	1mm以上
		密度	
		組成 (質量%)	
充てん材	裏面材 (配管側)	仕様	あり又はなし ①～③のー
		材料	①ポリオレフィン系ーポリエステル系積層フィルム ②ポリエステル系フィルム ③ナイロン系フィルム
		厚さ	0.05(±0.03)mm以下
	充てん材	材料	建築用シーリング材(JIS A 5758) 種類：シリコーン系
		充てん量 (使用量)	管と躯体(壁)との隙間に密に充てん (壁表面から42mm以上)

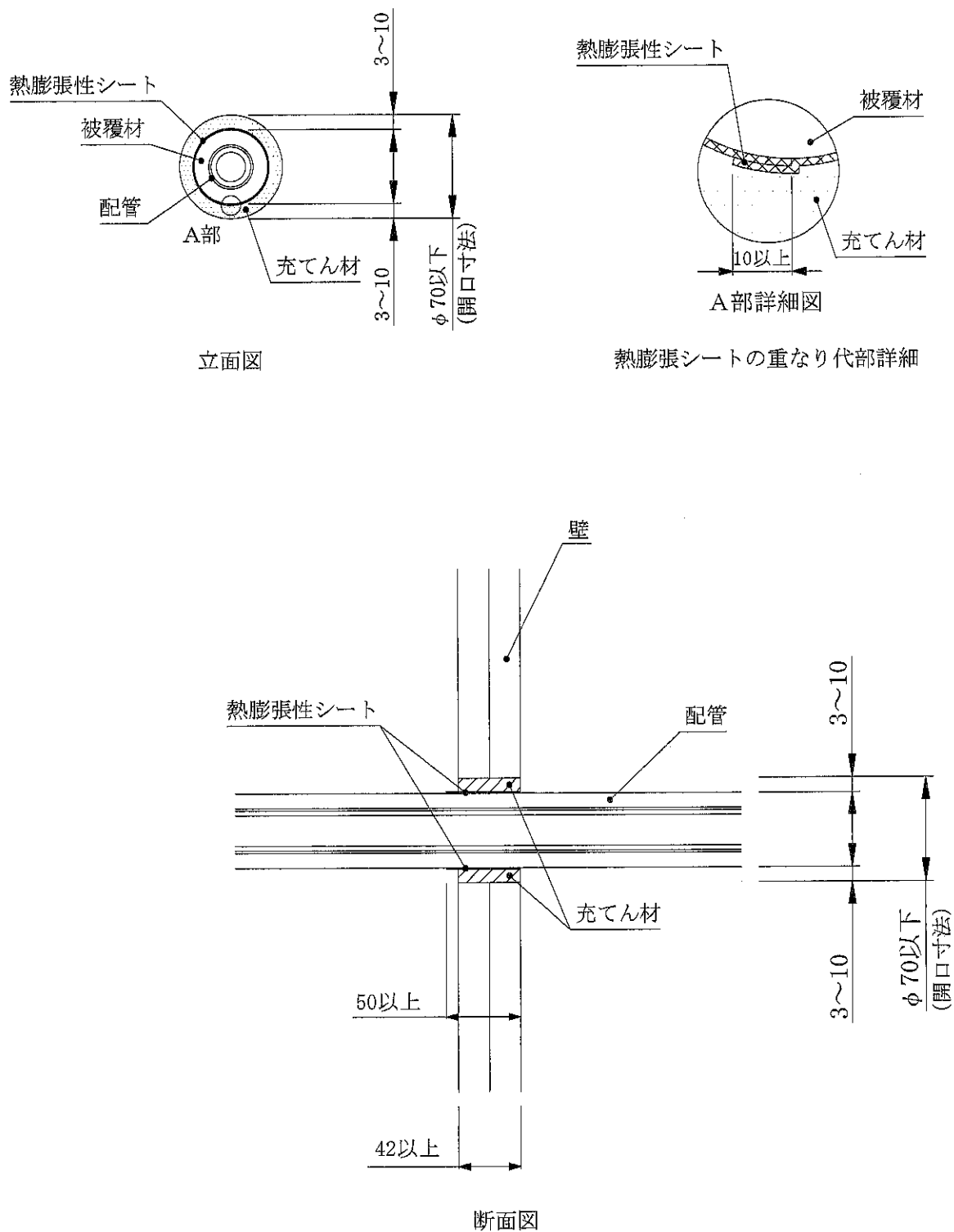
表3 配管の仕様

項 目		仕 様			
配管 (給水管・排水管)	架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769、JIS K 6787、JXPA401(架橋ポリエチレン管工業会規格)又はこれらの規格に規定された要求性能を満足する管)	外径	φ 27.0mm 以下		3.55mm以下
	ポリブテン管(JIS K 6778)		φ 27.0mm 以下		2.9mm以下
発泡ポリエチレン系	φ 50mm 以下 (仕上り外径)		厚さ	10mm以下	
発泡架橋ポリエチレン系					
発泡ポリウレタン系					
発泡ポリスチレン系					
発泡ポリプロピレン系					
発泡フェノール系					
発泡難燃ポリオレフィン系(酸素指数28以上)					
グラスウール(JIS A 9504)					
ロックウール(JIS A 9504)					
発泡合成ゴム系(ニトリル、ブチルゴム)					
使用方法		必要に応じて、配管(架橋ポリエチレン管、ポリブテン管)に用いることが出来る			

4. 構造説明図

構造説明図を図 1 に示す。

単位 mm



注) 配管の配置は、一例を示す

図 1 構造説明図 (施工図)

5. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

- (1) 貫通開口部の設定
ボイド管やコアドリル等を用いて貫通孔を設ける。
- (2) ケーブル・配管等の設置
ケーブル・配管等サイズ、本数及び占積率を考慮して貫通開口部に、ケーブル・配管等を設置して支持・固定する。
- (3) 熱膨張性シートの巻き付け
熱膨張性シートを配管に対して一周+10mm以上巻き付けて裏面材を破りシート部を張付けて固定する。
この時、熱膨張性シートと配管との間に隙間がないように注意し確認する。
※裏面材を破らない場合は養生テープ、ビニルテープ等で固定する。
- (4) 熱膨張性シートのスライド
熱膨張性シートを配管に沿わせて熱膨張性シートの先端が壁面と同一面になるようにスライドさせる。
- (5) 埋め戻し
貫通開口部と熱膨張性シートの隙間に、壁厚方向 42mm 以上充てん材で埋め戻しする。
埋め戻し部に隙間が無いことを確認して仕上げる。